

◆ 不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合事象が対象になります。

平成21年10月9日に不適合管理委員会で審議された不適合事象は、下記のとおりです。

区分 I: 該当なし

区分 II: 該当なし

区分 III: 該当なし

その他: 8 件

NO.	号機等	不適合件名	グレード	備考
1	1号機	取水設備レーキ付バースクリーン(G)及びトラベリングスクリーン(G)点検時、カバーに腐食が認められたため、当該腐食部を補修。	D	
2	2号機	北側トレンチ内ストームドレンサンプ出口流量計点検時、指示値に管理値外れが認められたため、当該流量計を交換。	D	
3	2号機	タービン建屋ストームドレンサンプ(B)出口流量計点検時、指示値に管理値外れが認められたため、当該流量計を交換。	D	
4	2号機	取水口監視カメラにおいて、ワイパーの動作不良(停止しないときがある)が認められたため、当該監視カメラを点検修理。	対象外	
5	2号機	原子炉建屋6階(燃料交換エリア)所内用圧縮空気元弁において、シートリークが認められたため、当該元弁を点検補修	D	
6	3号機	水素ガス供給設備点検時、貯水槽(散水用水)補給水弁にシートリークが認められたため、当該弁を点検補修。	D	
7	1.2号廃棄物処理設備	洗濯廃液系脱塩塔(A)ベントラインの流量スイッチにおいて、誤動作が認められたため、当該流量スイッチを点検。	D	
8	1.2号廃棄物処理設備	凝縮水移送ポンプ(A)点検時、インペラーとウエアリングの間に管理値外れが認められたため、対応検討。	D	

【凡例】

公表区分	事象の概要	主な具体例
区分Ⅰ	法律に基づく報告事象等の重要な事象	<ul style="list-style-type: none"> ・計画外の原子炉の停止 ・発電所外への放射性物質の漏えい ・非常用炉心冷却系の作動 ・火災の発生 など
区分Ⅱ	運転保守管理上、重要な事象	<ul style="list-style-type: none"> ・以下のうち、法律に基づく報告事象に該当しない軽度な場合 <ul style="list-style-type: none"> * 安全上重要な機器等の機能に支障を及ぼすおそれのある故障 * 管理区域内の放射性物質の漏えいが継続している場合 など ・原子炉への異物の混入 など
区分Ⅲ	運転保守管理情報の内、信頼性を確保する観点から速やかに詳細を公表する事象	<ul style="list-style-type: none"> ・計画外の原子炉または発電機出力の軽度な変化 ・原子炉の安全、運転に影響しない機器の故障 ・原子力発電設備に係わる機器に影響を及ぼす水の漏えい ・圧力抑制室等への異物の混入 ・原子力発電設備に係る業務における人の障害 など
その他	上記以外の不適合事象	<ul style="list-style-type: none"> ・日常小修理 など

【原子力発電所における不適合事象の是正管理】

原子力発電所では、設備の健全性を維持し、安全運転を継続するため、発電所設備の定期検査や運転中の巡視点検、定例試験、点検・修理等を行っております。その中で、「不適合」が発見された場合には、「不適合管理マニュアル」に基づき、必要な是正措置を講じることとしております。

* 不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。

不適合管理グレード分け(不適合管理委員会にて決定)

- As :法令、安全協定に基づく報告事象
:プラントの性能、安全性に重大な影響を与える事象
- A :国、地方自治体等へ大きな影響を与える事象
:定期検査工程へ大きな影響を与える事象
- B :国の検査等で指摘を受けた事象
:運転監視の強化が必要な事象
- C :品質保証の要求事項に対する軽微な事象
- D :通常のメンテナンス範囲内の事象
- 対象外 :消耗品の交換等の事象

(お問い合わせ)

福島第二原子力発電所・広報部・行政広報グループ
電 話 0240-30-7802